

【授業科目】看護教育学特論 Theory of Nursing Education

担当教員		開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
西菌 貞子		1年次前期	選択	2	30	講義	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対するフィードバック方法	<p>(目的)看護の質向上にむけ、看護職者として系統的な教育活動を展開するために必要な知識基盤の獲得を目指す。教育学の基本的原理を踏まえ、看護教育における現状と課題と展望について学び深める。</p> <p>(進め方)ディスカッションやプレゼンテーションを通して現状や課題について探究を図り、今後の展望を明らかにしていく。</p> <p>効果的な人材育成＝教育に向けて、事例を用いて学び深めていく。</p> <p>(課題に対するフィードバック)／講義の中でフィードバックを行う。</p>						
授業の位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー③④に関連している。						
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護教育の変遷から教育の方向性、継続性に着目し、継続教育におかえる課題を説明することができる。 2. 教育学の基礎的理論を基盤にし、看護の基礎教育および卒業後の現任教育のあり方を生涯学習体系の中に位置づけて説明することができる。 3. 看護の質向上にむけ、より効果的な継続教育について説明をすることができる。 						
時間外学習に必要な内容・時間	<p>事前課題：毎回の授業テーマについて学習を行い、自分なりの意見を整理しておく。</p> <p>事後課題：授業終了後配布資料や関連文献を調べ学習内容の理解を深めておく。</p>						
	※学習計画をたて、各授業での学びを深めてください。授業への主体的な参加を期待します。自己学習の深まりと広がり期待しています。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の意義と定義 教育とは/教育と学習者 看護の教育的機能と歴史的変遷と展望 2. 看護と人材育成、看護教育の変遷 社会状況と教育制度の変遷、社会の要請と看護の果たす役割 3. 専門職業人教育、生涯教育とその発展 教育方法論の検討 4～5. 看護専門職業教育とその方法 ・自己研鑽を支える看護教育の現状と課題 ・新人教育と教育方法 ・経年研修の意義と効果 6. ケアの質と実践能力 能力と看護の質について 実践例研究のクリティーク 8. 看護実践能力の育成・ 能力開発と継続教育 9. 生涯学習からみた看護継続教育の役割と教育方法の検討 ・キャリア形成、発達、開発 ・リカレント教育 10～12. 高度専門職業人養成 ・大学院教育における人材育成の目的と課題 ・国際比較からみる日本の看護教育の特徴・ 13～14. 高度臨床実践者に期待されるコンピテンシーとその育成 ・育成方法について検討 15. 新しい看護継続教育への提言 ・専門職者の自己研鑽を支える看護教育の現状と課題 						全て西菌
評価方法 評価基準	授業での討議・プレゼンテーション、レポートを合わせて総合的に評価する						
教科書	指定しない。	参考書等	適宜紹介する。				